



Dominion PX

クイック セットアップ ガイド

Dominion PX インテリジェント分電盤 (PDU) をご購入いただき、ありがとうございます。Raritan Dominion PX は、サーバ ルームのラックに設置されているようなコンピュータや通信機器などの IT 機器に電力を供給することを目的とした製品です。

このクイック セットアップ ガイドでは、Dominion PX のインストール方法と設定方法について説明します。Dominion PX の詳細については、『Dominion PX ユーザ ガイド』を参照してください。このユーザ ガイドは、Raritan Web サイトの Firmware and Documentation [ファームウェアおよびマニュアル] セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) からダウンロードできます。または、「Product Online Help (製品オンライン ヘルプ)」セクション (<http://www.raritan.com/support/online-help/>) から製品のオンライン ヘルプにアクセスできます。このリリースの詳細については、「Firmware and Documentation (ファームウェアとドキュメント)」セクションで入手できる最新のリリース ノートを参照してください。

Dominion PX の開梱

Dominion PX には、ゼロ U、1U、および 2U の各サイズがあります。以下に、各サイズの製品に付属している機器を示します。コンポーネントのパッケージを開梱します。内容物に欠品や破損がある場合は、Raritan テクニカル サポート (tech@raritan.com) までご連絡ください。

ゼロ U サイズ

- Dominion PX デバイス
- 装着用のねじ、ブラケット、ボタン
- 両端が DB9 コネクタのヌル モデム ケーブル (Raritan 部品番号: 254-01-0006-00) (オプション)
- インレットのケーブル リテンション クリップ (一部のモデルのみ)アウトレット (コンセント)

1U および 2U サイズ

- Dominion PX デバイス
- 1U または 2U のブラケット パックとねじ
- 両端が DB9 コネクタのヌル モデム ケーブル (Raritan 部品番号: 254-01-0006-00) (オプション)
- インレットのケーブル リテンション クリップ (一部のモデルのみ)

設置前の確認点

1. 設置場所を準備します。設置場所が清潔で、適切な温度と湿度の範囲であることを確認します。Dominion PX の周囲にケーブルとアウトレット (コンセント) の接続のための十分なスペースを確保します。安全の指針について

は、『Dominion PX ユーザ ガイド』を参照してください。

2. 『Dominion PX ユーザ ガイド』の「装置の設定ワークシート」に、PDU の電源アウトレット (コンセント) に接続する各 IT 機器のモデル、シリアル番号、および使用状況を記録します。

Dominion PX の装着

必要に応じて、いずれかの装着方法を使用して、Dominion PX デバイスを設置します。

サーキット ブレーカの向きの制限

通常、PDU はどの向きでも装着できます。ただし、サーキット ブレーカ付きの PDU を装着する場合は、次のルールに従う必要があります。

- サーキット ブレーカを下向きにすることはできません。たとえば、サーキット ブレーカ付きのゼロ U PDU を天井に水平に装着しないでください。
- ポートや飛行機などの環境でラックが衝撃を受ける場合は、PDU を上下を逆にして装着することはできません。上下を逆にして装着すると、衝撃応力によりトリップ点が 10% 下がります。

注: 通常の状態では電源コードが下向きの場合、上下を逆にするると電源コードが上向きになります。

1U モデルまたは 2U モデルの装着

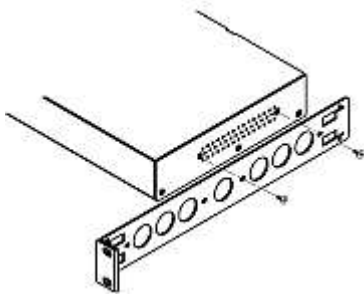
適切なブラケットと工具を使用して、1U または 2U の Dominion PX デバイスをラックまたはキャビネットに固定し

ます。PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向き**の制限『1p.』」をお読みください。

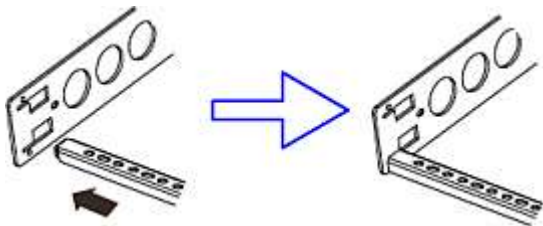
▶ **Dominion PX デバイスを装着するには、次の手順に従います。**

1. ラック マウント ブラケットを Dominion PX デバイスの側面に取り付けます。
 - a. ラック マウント ブラケットの 2 つの楕円形の穴と Dominion PX デバイスの側面にある 2 つのねじ穴を合わせます。
 - b. ラック マウント ブラケットを Raritan が提供する 2 つのねじで固定します。

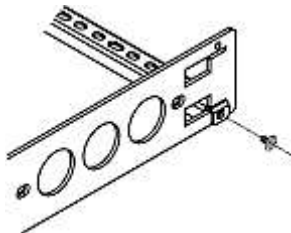
注: ラック マウント ブラケットの楕円形の穴の適切な場所は、モデルのねじ穴によって異なる場合があります。



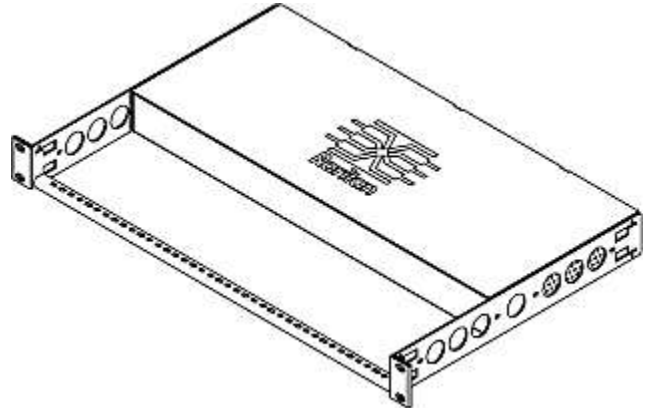
2. 手順 1 を繰り返して、もう一方のラック マウント ブラケットを Dominion PX のもう一方の側面に固定します。
3. ケーブル サポート バーの一方の端をラック マウント ブラケットの L 型の穴に挿入し、バーの端にある穴を L 型の穴の横にあるねじ穴に合わせます。



4. ケーブル サポート バーを Raritan が提供するキャップねじで固定します。



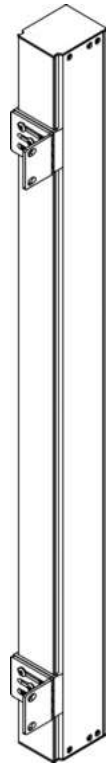
5. 手順 3 ~ 4 を繰り返して、ケーブル サポート バーのもう一方の端をもう一方のラック マウント ブラケットに固定します。



手持ちのねじ、ボルト、ケージ ナットなどでラック マウント ブラケットの耳をラックの前面のレールに固定して、ラックに Dominion PX デバイスを装着します。

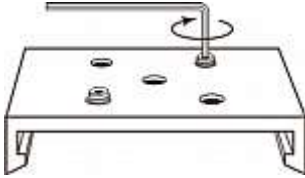
L-ブラケットを使用したゼロ U モデルの装着

PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向き**の制限『1p.』」をお読みください。

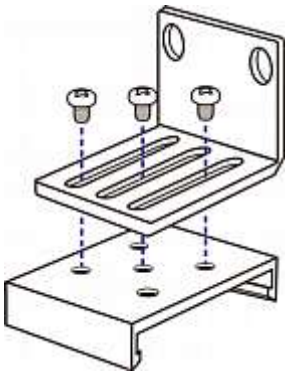


▶ **L-ブラケットを使用してゼロ U モデルを装着するには、次の手順に従います。**

1. **Dominion PX** デバイスの背面にベースプレートを合わせます。
2. ベースプレートを所定の位置に固定します。付属の L 型六角レンチを使用して、ベースプレートが軽く固定されるまで六角穴付きねじを緩めます。



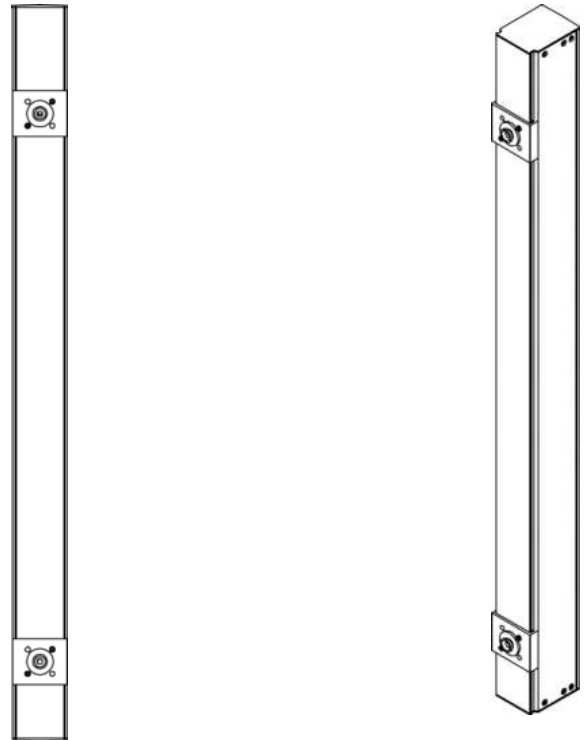
3. ベースプレートの 5 つのねじ穴と L-ブラケットのスロットが合うように、L-ブラケットとベースプレートの位置を合わせます。ラック マウント側のブラケットは、**Dominion PX** デバイスの左側または右側に面している必要があります。
4. ブラケットを少なくとも 3 つのネジ (各スロットに 1 つ) で適切な位置に固定します。必要に応じて残りのネジも使用します。



5. ラックのねじを使用して、**Dominion PX** デバイスを L-ブラケットを通してラックに固定します。

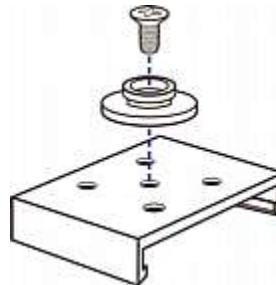
ボタン マウントを使用したゼロ U モデルの装着

PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「サーキット ブレーカの向き制限 [1p.]」をお読みください。



▶ **ボタン マウントを使用してゼロ U モデルを装着するには、次の手順に従います。**

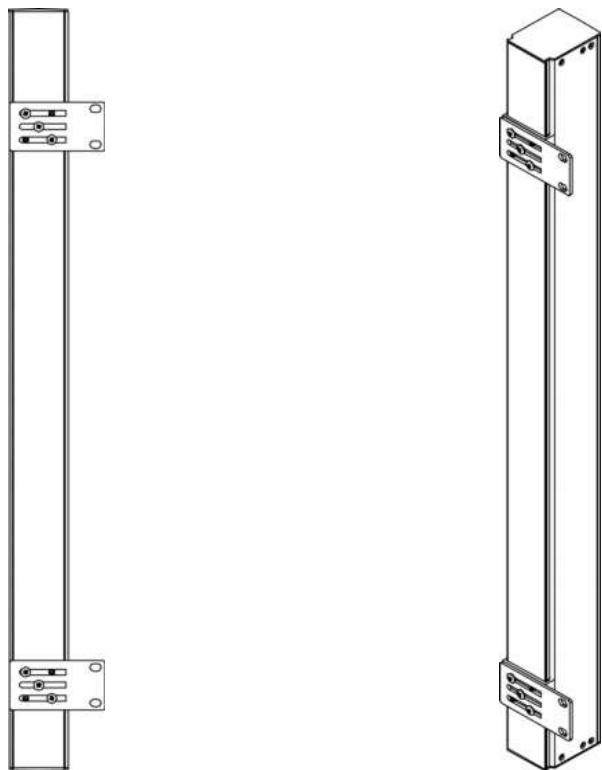
1. **Dominion PX** デバイスの背面にベースプレートを合わせます。安定させるために、ボタンの間隔を 60cm 以上にしてください。
2. ベースプレートに **Dominion PX** デバイスを軽く留めます。付属の L 型六角レンチを使用して、ベースプレートが軽く固定されるまで六角穴付きねじを緩めます。
3. 各マウント ボタンを各ベースプレートの中央でねじ留めます。ボタンの推奨トルクは 1.96 N·m (20 kgf·cm) です。



4. 大きいマウント ボタンをキャビネットのマウント穴に合わせ、一方を固定し、もう一方を調整します。
5. マウント ボタンがその位置で固定されるまで、六角穴付きねじを緩めます。
6. 両方のボタンは、マウント穴に同時にはまるようにします。

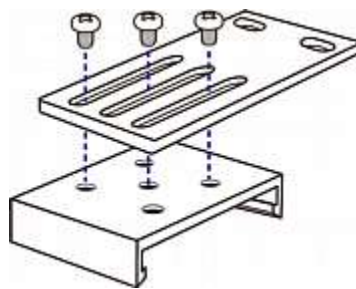
7. Dominion PX デバイスを前に押し、マウント穴にマウント ボタンを押し込み、デバイスが約 1.6 cm 下がるようにします。これにより、Dominion PX デバイスが所定の位置に固定され、設置が完了します。

かぎつめ足ブラケットを使用したゼロ U モデルの装着 PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向き**の制限『1p.』」をお読みください。



▶ かぎつめ足ブラケットを使用してゼロ U モデルを装着するには、次の手順に従います。

1. Dominion PX デバイスの背面にベースプレートを合わせます。
2. ベースプレートを所定の位置に固定します。 付属の L 型六角レンチを使用して、ベースプレートが軽く固定されるまで六角穴付きねじを緩めます。
3. ベースプレートの 5 つのねじ穴とかぎつめ足ブラケットのスロットが合うように、かぎつめ足ブラケットとベースプレートの位置を合わせます。 ラック マウント側のブラケットは、Dominion PX デバイスの左側または右側に面している必要があります。
4. ブラケットを少なくとも 3 つのネジ (各スロットに 1 つ) で適切な位置に固定します。必要に応じて残りのネジも使用します。



5. ラックのねじを使用して、Dominion PX デバイスをかぎつめ足ブラケットを通してラックに固定します。

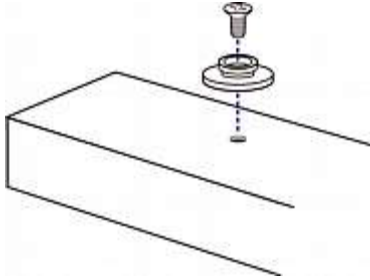
背面の 2 つのボタンを使用したゼロ U モデルの装着次に、2 つのボタンだけを使用して PDU を装着する方法について説明します。PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向き**の制限『1p.』」をお読みください。



▶ 2 つのボタンを使用してゼロ U モデルを装着するには、次の手順に従います。

1. PDU の背面パネルを前に向けます。
2. 背面パネルの 2 つのねじ穴を探します。1 つは一番下付近にあり、もう 1 つは一番上付近 (ケーブル グランドの側) にあります。

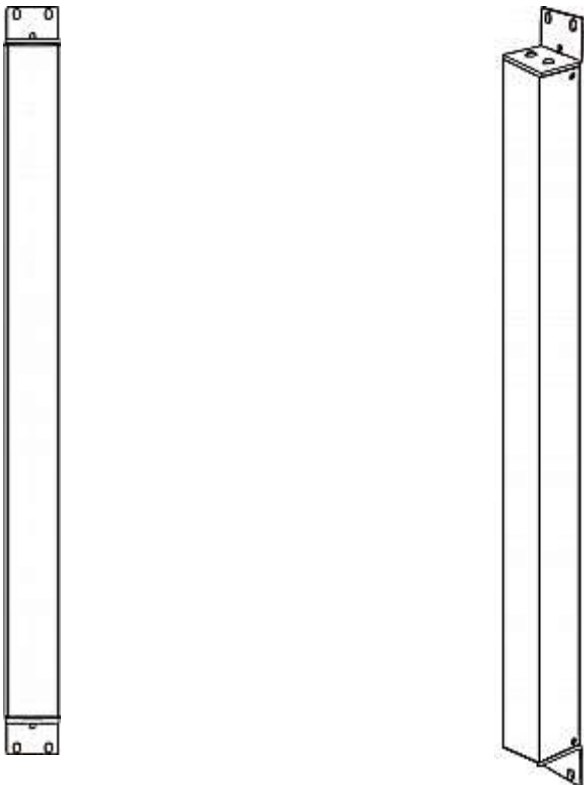
3. 一番下付近のねじ穴にボタンをねじ留めします。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。



4. 一番上付近のねじ穴にボタンをねじ留めします。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。
5. 2 つのボタンがラックまたはキャビネットのマウント穴に同時にはまることを確認します。
6. Dominion PX デバイスを前に押し、マウント穴にマウント ボタンを押し込み、デバイスがわずかに下がるようにします。これにより、Dominion PX デバイスが所定の位置に固定され、設置が完了します。

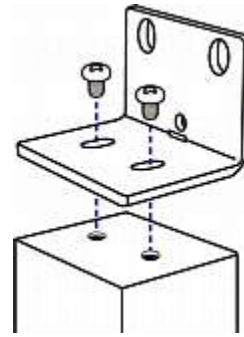
L-ブラケットとボタンを使用したゼロ U モデルの装着

このセクションでは、L-ブラケットと 2 つのボタンを使用して PX-1000 シリーズの PDU を装着する方法について説明します。PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向きの制限**」『1p.』をお読みください。

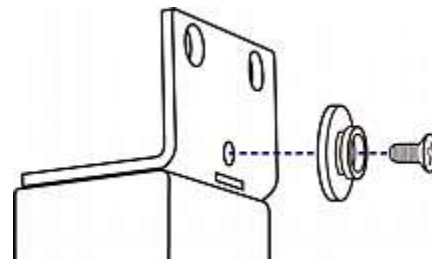


▶ L-ブラケットと 2 つのボタンを使用してゼロ U モデルを装着するには、次の手順に従います。

1. L-ブラケットの中央の 2 つの穴と PDU の 2 つのねじ穴を合わせます。
2. L-ブラケットを PDU にねじ留めし、ブラケットがしっかりと固定されていることを確認します。



3. 手順 1 と 2 を繰り返して、もう 1 つの L-ブラケットを PDU の下部にねじ留めします。
4. 両方の L-ブラケットを PDU に取り付けたら、次のいずれかの方法で PDU をラックに装着できます。
 - ラックねじを使用して、各 L-ブラケットの端付近にある 2 つの同じ穴を通して PDU をラックに固定します。
 - 各 L-ブラケットの背面中央にマウント ボタンをねじ留めし、両方のボタンをラックのマウント穴にはめ込んで、PDU を装着します。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。



インレットへのケーブル リテンション クリップの取り付け (任意)

ケーブル リテンション クリップを使用するように Dominion PX デバイスが設計されている場合は、クリップを取り付けてから電源コードを接続します。ケーブル リテンション クリップは、接続された電源コードの緩みや垂れ下りを防ぎます。

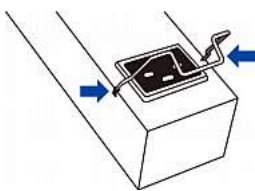
地震活動が活発な地域、または衝撃や振動が予想される環境では、ケーブル リテンション クリップの使用を強くお勧めします。



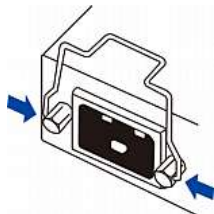
▶ **ケーブル リテンション クリップをインレットに取り付けて使用するには、次の手順に従います。**

1. インレット付近の 2 つの小さい穴を探します。
2. この小さい穴にクリップの両端を差し込んでケーブル リテンション クリップを取り付けます。

ゼロ U モデル

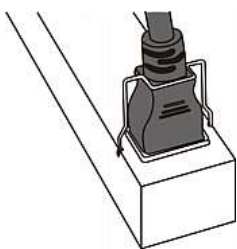


1U/2U モデル

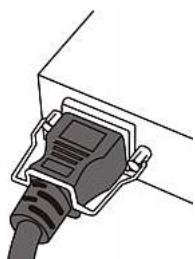


3. 電源コードをインレットに接続し、電源コードがしっかり固定されるように電源コードに向かってクリップを押します。

ゼロ U モデル



1U/2U モデル



電源への Dominion PX の接続

PDU とその電源の距離は、コードが伸びてしまわないように、PDU の電源コードより短くする必要があります。しっかり接続するために、電源のロック コネクタを使用することをお勧めします。

▶ **PDU を電源に接続するには、次の手順に従います。**

1. Dominion PX デバイスのすべてのサーキット ブレーカがオンになっていることを確認します。オンになっていない場合は、該当するサーキット ブレーカをオンにします。

ヒューズのある PDU の場合、すべてのヒューズが正しく挿入され、配置されていることを確認します。ヒューズ

カバーがある場合は、カバーが閉じていることを確認します。

注: すべての Dominion PX デバイスが、過電流保護機構を備えているわけではありません。

2. 各 Dominion PX デバイスを適切な定格の分岐回路に接続します。適切な入力定格または定格の範囲については、Dominion PX デバイスに貼られているラベルまたはネームプレートを参照してください。
3. Dominion PX デバイスの電源がオンになると、しばらくの間はパワーオンセルフテストとソフトウェアのロードが実行されます。このとき、アウトレット (コンセント) の LED がさまざまな色に切り替わります。
4. ソフトウェアのロードが完了すると、アウトレット (コンセント) の LED が一定の色になり、LED 表示が点灯します。

注: PX-1000 シリーズの PDU には、アウトレット (コンセント) の LED がなく、LED 表示のみが点灯します。

コンピュータへの Dominion PX の接続

コンピュータのシリアル ポートを使用できるかどうかに応じて、コンピュータへの接続を確立する方法が 2 つあります。

▶ **シリアル接続を確立するには、次の手順に従います。**

1. マル モデム ケーブルの片側を Dominion PX デバイスの CONSOLE / MODEM というラベルの RS-232 ポートに接続します。
2. マル モデム ケーブルの反対側をコンピュータのシリアル ポート (COM) に接続します。

▶ **USB 接続を確立するには、次の手順に従います。**

1. 通常の USB ケーブルの一方の端を Dominion PX デバイスの USB-B ポートに接続します。
2. USB ケーブルの反対側をコンピュータの USB-A ポートに接続します。

ネットワークへの Dominion PX の接続

Web インタフェースを使用して Dominion PX を管理するには、Dominion PX デバイスをローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続する必要があります。Dominion PX は、有線ネットワークまたはワイヤレス ネットワークに接続できます。

▶ **有線接続を確立するには、次の手順に従います。**

1. 標準のカテゴリ 5e/6 UTP ケーブルを Dominion PX デバイスの Ethernet ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を LAN に接続します。

▶ **ワイヤレス接続を確立するには、次の手順に従います。**

次のいずれかを実行してください。

- 802.11n ワイヤレス USB LAN アダプタを Dominion PX デバイス上の USB-A ポートに接続します。
- USB ドッキング ステーションを Dominion PX デバイス上の USB-A ポートに接続し、802.11n ワイヤレス USB LAN アダプタをドッキング ステーション上の適切な USB ポートに接続します。

サポートされているワイヤレス LAN 設定

ワイヤレス接続を選択する場合は、ワイヤレス USB LAN アダプタとワイヤレス ネットワーク設定の両方が次の要件を満たしていることを確認します。

- ネットワーク タイプ: 802.11n
- プロトコル: WPA2 (RSN)
- キー管理: WPA-PSK
- 暗号化: CCMP (AES)

重要: 現在は Raritan が提供するワイヤレス USB LAN アダプタのみがサポートされています。この情報については、Raritan テクニカル サポートにお問い合わせください。

Dominion PX の設定

1. Dominion PX デバイスに接続したコンピュータで、ハイパーターミナルまたは PuTTY などの通信プログラムを開きます。
2. 適切なシリアルポートを選択し、ポートが次のように設定されていることを確認します。
 - ビット/秒 = 115200 (115.2Kbps)
 - データ ビット = 8
 - ストップ ビット = 1
 - パリティ = なし
 - フロー制御 = なし
3. Enter キーを押します。
4. Dominion PX にログインするよう求めるプロンプトが表示されます。ユーザ名とパスワードは、いずれも大文字と小文字が区別されることに注意してください。
 - a. [Username (ユーザ名)] プロンプトで、「admin」と入力し、Enter キーを押します。
 - b. [Password (パスワード)] プロンプトで、「raritan」と入力し、Enter キーを押します。
5. Dominion PX デバイスに初めてログインする場合は、パスワードを変更するよう求められます。画面に表示される指示に従って、新しいパスワードを入力します。
6. 正常にログインすると、# プロンプトが表示されます。
7. 「config」と入力して、Enter キーを押します。
8. ネットワークを設定するには、適切なコマンドを入力し、Enter キーを押します。すべてのコマンドで大文字と小文字が区別されます。

- a. ネットワーク モードを設定するには、次のコマンドを入力します。


```
network mode <mode>
```

<mode> は、有線接続 (デフォルト) の場合は *wired*、ワイヤレス接続の場合は *wireless* です。
- b. 有線接続モードの場合、LAN インタフェース設定を指定できます。ほとんどの場合、デフォルトの設定である「auto」で正常に機能します。必要のない限り変更しないでください。

設定対象	使用するコマンド
LAN interface speed (LAN インタフェース速度)	network interface LANInterfaceSpeed <option> <option> は、 <i>auto</i> 、 <i>10Mbps</i> 、または <i>100Mbps</i> です。
LAN interface duplex mode (LAN インタフェース デュプレックスモード)	network interface LANInterfaceDuplexMode <mode> <mode> は、 <i>half</i> 、 <i>full</i> 、または <i>auto</i> です。

ヒント: 複数のコマンドを組み合わせることで複数のパラメータを一度に設定できます。たとえば、次のように設定します。

```
network interface LANInterfaceSpeed <option> LANInterfaceDuplexMode <mode>
```

- c. ワイヤレス ネットワーク モードの場合、Service Set Identifier (SSID) パラメータを設定する必要があります。

設定対象	使用するコマンド
SSID	network wireless SSID <ssid> <ssid> は、SSID 文字列です。

必要な場合は、次の表に示す他のワイヤレス パラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
BSSID	network wireless BSSID <bssid> <bssid> は、AP MAC アドレスです。

設定対象	使用するコマンド
認証方法	network wireless authMethod <method> <method> は、事前共有キーの場合は <i>psk</i> 、拡張認証プロトコルの場合は <i>eap</i> です。
PSK	network wireless PSK <psk> <psk> は、PSK 文字列です。
EAP 外部認証	network wireless eapOuterAuthentication <outer_auth> <outer_auth> は <i>PEAP</i> です。
EAP 内部認証	network wireless eapInnerAuthentication <inner_auth> <inner_auth> は <i>MSCHAPv2</i> です。
EAP ID	network wireless eapIdentity <identity> <identity> は EAP 認証のユーザ名です。
EAP パスワード	network wireless eapPassword <password> <password> は EAP 認証のパスワードです。
EAP CA 証明書	network wireless eapCACertificate CA 証明書を入力するプロンプトが表示されたら、テキスト エディタで証明書を開き、その内容を通信プログラムにコピーアンドペーストします。

注: CA 証明書からコピーする内容に、"BEGIN CERTIFICATE" が含まれる最初の行と "END CERTIFICATE" が含まれる最後の行を含めないでください。

- d. 有効にする IP プロトコルと DNS サーバから返された使用する IP アドレスを決定するには、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IP プロトコル	network ip protocol <protocol> <protocol> は、IPv4 を有効にする場合は <i>v4Only</i> 、IPv6 を有効にする場合は <i>v6Only</i> 、IPv4 プロトコルと IPv6 プロトコルの両方を有効にする場合は <i>both</i> です。

設定対象	使用するコマンド
DNS サーバから返された、使用する IP アドレス	network ip dnsResolverPreference <address> <address> は、IPv4 アドレスの場合は <i>v4Addresses</i> 、IPv6 アドレスの場合は <i>v6Addresses</i> です。

- e. 前の手順で IPv4 プロトコルを有効にした場合は、IPv4 ネットワーク パラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IP 設定方法	network ipv4 ipConfigurationMode <mode> <mode> には、自動設定 (デフォルト) の場合は <i>dhcp</i> 、固定 IP アドレスを指定する場合は <i>static</i> を指定します。

- IPv4 DHCP 設定の場合は、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
優先ホスト名 (オプション)	network ipv4 preferredHostName <name> <name> は、優先ホスト名です。

ヒント: DHCP によって割り当てられた IPv4 DNS サーバを手動で指定したサーバで上書きするには、次のコマンドを入力します。

```
network ipv4 overrideDNS <option>
```

<option> は、enable または disable です。DNS サーバを手動で指定するための IPv4 コマンドについては、次の表を参照してください。

- 固定 IPv4 設定の場合は、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
固定 IPv4 アドレス	network ipv4 ipAddress <ip address> <ip address> は、割り当てる IP アドレスです。

設定対象	使用するコマンド
サブネット マスク	network ipv4 subnetMask <netmask> <netmask> は、サブネット マスクです。
ゲートウェイ	network ipv4 gateway <ip address> <ip address> は、ゲートウェイの IP アドレスです。
プライマリ DNS サーバ	network ipv4 primaryDNSServer <ip address> <ip address> は、プライマリ DNS サーバの IP アドレスです。
セカンダリ DNS サーバ (オプション)	network ipv4 secondaryDNSServer <ip address> <ip address> は、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスです。

- f. 手順 d で IPv6 を有効にした場合は、IPv6 ネットワーク パラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IP 設定方法	network ipv6 ipConfigurationMode <mode> <mode> には、自動設定 (デフォルト) の場合は <i>automatic</i> 、固定 IP アドレスを指定する場合は <i>static</i> を指定します。

ヒント: DHCP によって割り当てられた IPv6 DNS サーバを手動で指定したサーバで上書きするには、次のコマンドを入力します。

```
network ipv6 overrideDNS <option>
```

<option> は、enable または disable です。DNS サーバを手動で指定するための IPv6 コマンドについては、次の表を参照してください。

- 固定 IPv6 設定の場合は、次のパラメータを設定する必要があります。IP アドレスは、IPv6 の形式に従っている必要があります。

設定対象	使用するコマンド
固定 IPv6 アドレス	network ipv6 ipAddress <ip address> <ip address> は、割り当てる IP アドレスです。

設定対象	使用するコマンド
ゲートウェイ	network ipv6 gateway <ip address> <ip address> は、ゲートウェイの IP アドレスです。
プライマリ DNS サーバ	network ipv6 primaryDNSServer <ip address> <ip address> は、プライマリ DNS サーバの IP アドレスです。
セカンダリ DNS サーバ (オプション)	network ipv6 secondaryDNSServer <ip address> <ip address> は、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスです。

9. 変更を保存するかどうかにかかわらず、設定モードを終了するには、次のいずれかのコマンドを入力し、Enter キーを押します。

コマンド	説明
apply	設定変更をすべて保存して、設定モードを終了します。
cancel	設定変更をすべて中止して、設定モードを終了します。

プロンプトが表示され、設定モードが終了したことがわかります。

10. すべて正しく設定されているかどうかを確認するには、次のコマンドを 1 つずつ入力します。現在のネットワーク設定が表示されます。

コマンド	説明
show network	ネットワーク パラメータが表示されます。
show network ip all	すべての IP 設定パラメータが表示されます。
show network wireless details	すべてのワイヤレス パラメータが表示されます (このコマンドは、ワイヤレス モードを有効にした場合にのみ実行します)。

ヒント: 「show network wireless」と入力すると、ワイヤレス設定の簡易表示版が表示されます。

11. すべて正しい場合は、「exit」と入力して Dominion PX からログアウトします。正しくない設定がある場合は、

手順 7 ~ 10 を繰り返してネットワーク設定を変更します。

次の処理手順

1. Dominion PX のアウトレット (コンセント) に IT 機器を接続します。
2. LAN に接続したコンピュータで、ブラウザを開いて Dominion PX デバイスの IP アドレスを指定します。
3. ユーザ名およびパスワードを入力するプロンプトが表示されたら、**admin** および「**Dominion PX の設定**」の「7p.」の手順で設定した新しいパスワードを入力します。
4. [Dominion PX] ページが表示されます。
5. [Device Settings (デバイスの設定)] > [Date/Time (日付/時刻)] を選択し、Dominion PX に正しい日付と時刻を設定するか、NTP サーバと同期させます。LDAP 認証を使用する場合は、Dominion PX の時間を LDAP サーバと同期させる必要があります。

重要: Raritan の Power IQ を使用して Dominion PX を管理する場合は、同じ NTP サーバを使用するように Power IQ と Dominion PX を設定する必要があります。

6. Dominion PX は、工場出荷時には、すべてのアウトレット (コンセント) がオンになっています。デバイスが接続されていないアウトレット (コンセント) は、Web インタフェースからオフにすることができます。
7. ページの上部に表示されるメニューを使用して、ユーザープロファイルの作成、権限の設定、セキュリティの設定、およびアウトレット (コンセント) のしきい値の設定を行います。

注: 操作手順については、『**Dominion PX ユーザ ガイド**』を参照してください。

MAC アドレス

Dominion PX デバイスには、LED 表示の近くに、PDU のシリアル番号および MAC アドレスが記載されたラベルが貼付されています。



必要な場合は、一般的なネットワーク ツールを使用することで、MAC アドレスから PDU の IP アドレスを検出できます。サポートについては、LAN 管理者にお問い合わせください。

安全および設置についての情報

注意:

『**Dominion PX ユーザ ガイド**』と併せて、ここに記載されている指示に従ってください。

この製品の設置は、関連する法規/規制 (例: 英国における IEE wiring regulations (IEE 配線規制)) による要件および業界の慣行に従って、適切な資格を持った担当者があたる必要があります。これらの製品の設計およびテストの対象になった使用方法についての情報が必要な場合、ご要望に応じて提供いたします。設置を実施する際には、安全衛生に関する適切な規制に従って実行する必要があります。

テスト

すべての PDU は、必要な規格に準拠していることをテストして検証できます。さらにシステム配線を配置する場合や、より大きなシステムにモジュールが統合される場合、国内の配線規制に従っているかどうか、使用前に設置環境全般をテストする必要があります。

特定の規格に準拠する場合、設置後、使用前に電氣的な設置状況をテストする必要があります。また、一般的な使用状況では、製品の定期的な検査の必要があります。電氣的および視覚的なチェックの頻度は、PDU の使用状況の性質によって異なり、その状態に応じて、設置者がテスト頻度を決定する必要があります。通常のテストについてのガイドラインを次に示します。

接地の接続

電源装置の接地線とアウトレット (コンセント) ソケットの接地コネクタとの間では、交流電源から 12V 以下の無負荷電圧で 25A の電流が流れます。このテストは、接地する必要がある周辺の設置のすべてのパーツで繰り返す必要があります。

3m を超える電源コードが指定されている場合は、多くの PAT テスターに共通する 100mΩ の限界を超えることがありますが、製品に障害が発生したことを示すわけではありません。コードの長さを確認して、適切に対応する必要があります。

導線の接続と極性

システムをチェックして、すべての配線の極性と接続に問題がないことを確認する必要があります。

絶縁抵抗

中性線と接地の間の絶縁抵抗は、直流 500V のテスト電源を使用して測定し、その測定された抵抗が 1.0MΩ 未満である必要があります。

瞬間試験

中性線と接地との間で瞬間的に交流 1500V の電圧をかけたときに、漏電が 1mA 以下である必要があります。注: 電源コードの長さが 3m を超えていると、ユニットからの漏電がより大きくなる場合があります。適切に対応する必要があります。

ライン (電力線) と中性線の間でテストすると、ネオン インジケータ (適用する場合) のためにエラーになることがあります。

フィルタが組み込まれたユニットについて

フィルタ システムが組み込まれたユニットには、直流 500V で中性線と接地のテストを実行できます。ただし、交流 1500V で瞬間試験を実行すると、フィルタ コンポーネントの性質上、絶縁テストで高い漏電値を示すことがあります。

フィルタ ユニットが通常の状態にあるときの、静止状態の接地漏電をチェックすることができます。その値は 250V、50Hz で 0.9mA 以下である必要があります。

ラインから中性線への瞬間試験および絶縁試験を実行すると、フィルタ システムの存在によって明確な結果が得られず、さらにサージ抑制回路を損傷することがあります。

使用方法

このシステムは、最新の安全性要件に準拠して設計されています。一般的な使用のための規格に準拠し、さらに、この PDU は 19 インチ (48.26cm) のラック マウント環境で使用するために、工場で設定されています。他の状況での使用を除外するものではありません。

安全注意事項

警告: このガイドのすべてのセクションを読んで理解してから、本製品を設置または運用してください。

警告: 本製品は、電圧が製品のネームプレートに示されている範囲内にある AC 電源に接続してください。ネームプレートの電圧を超えた状態で本製品を動作させると、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品は、国や地域の電気工事規定に従って適切な定格のヒューズまたはサーキット ブレーカで電流が制限されている AC 電源に接続してください。適切な電流制限をかけずに本製品を動作させると、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品は、保安用接地に接続してください。製品のプラグと壁のアウトレット (コンセント) の間に「グラウンド リフト アダプタ」は使用しないでください。保安用接地に接続していない場合、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品には、ユーザによる保守が可能な部品はありません。本製品を開いたり、改造や分解をしたりしないでください。あらゆる保守サービスは、資格を持った担当者が行う

必要があります。本製品の保守サービスを行う前に、電源を切断してください。この警告に従わなかった場合、感電、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品は、湿気の少ない場所で使用してください。本製品を湿気の多い場所で使用した場合、感電、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品のアウトレット (コンセント) ランプ、アウトレット (コンセント) リレー スイッチ、およびその他のアウトレット (コンセント) 電源オン/オフ インジケータを利用して、アウトレット (コンセント) に電力が供給されているかどうかを判断しないようにしてください。本製品に接続されているデバイスの修理や保守サービスを行う前に、そのデバイスの電源プラグを抜いてください。デバイスの電源プラグを抜かずに保守サービスを行うと、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品は、UL/IEC 60950-1 に相当する定格の IT 機器に電力を供給する場合にのみ使用してください。この定格を満たしていないデバイスに電力を供給しようとすると、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品は、モーターやコンプレッサのような誘導負荷に電力を供給する目的では使用しないでください。誘導負荷に電力を供給しようとすると、本製品が損傷するおそれがあります。

警告: 本製品は、重篤な患者向けの医療機器、火災報知器、煙感知器などに電力を供給する目的では使用しないでください。本製品を使用してそのような機器に電力を供給すると、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品が、電源コードやプラグの取り付けが必要なモデルである場合、そうした取り付け作業はすべて電気工士が行い、製品のネームプレートに記載されている定格および国や地域の電気工事規定に基づいて、適切な定格のコードやプラグを使用する必要があります。無資格の電気技術者が取り付けを行った場合や、適切な定格のコードやプラグを使用しなかった場合は、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

警告: 本製品には、カリフォルニア州において発癌、出生異常、または生殖障害の原因として知られている化学物質が含まれています。

その他の情報

Dominion PX™ および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.com) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープン ソース コードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。